

島商Q&A (学習について)

Q 商業高校って、どんな学校ですか？島商は、どんなことを学ぶ学校ですか？

A 将来仕事につく時に役立つ知識やスキルを学ぶことができます。就職するなら絶対有利です。進学指導にも力を入れています。

Q 普通科との違いは何ですか？

A 選択授業があり、いろいろな商業科目が学べます。主要5科目が少なく、全授業の1/3位は商業科目です。

Q 商業科目は、どういうものがありますか？

A 主にマーケティング、マネジメント、会計、ビジネス情報の4分野に大別されます。まずは1年生でビジネス基礎、簿記、情報処理の基礎科目を学習し、2年生から選択科目で専門性を深めていきます。

Q はじめて勉強する商業科目が心配です。ついていけるでしょうか？

A 全員が初めて学習するので、全員が同じスタートラインに立ちます。しっかりと着実に学習を進めていけるので、安心してください。

Q 国数理社英の授業はありますか？

A あります。体育・音楽・家庭もあります。商業の科目を多く学ぶため、普通科の学校と比較すると時間数が少ないです。2年生からの選択授業にもあり、選択可能です。

Q 授業は、何分授業ですか？

A 50分授業です。

Q 宿題はありますか？

A ありますが、多くはありません。

Q そろばんはやったことがないのですが、島商で、困るでしょうか？

A 授業ではそろばんではなく、電卓を授業で使用しますので安心してください。逆に、そろばんを極めたい生徒は、珠算・簿記部で練習を積む環境があります。

Q 計算をすることが多いと聞きました。数学が苦手ですが、大丈夫ですか？

A 商業科目の計算は、電卓を使った計算や、小学校の時に学習した割合の計算が多いです。数学が苦手でも、基本的な計算ができれば、大丈夫です。

Q 島商で取れる資格や検定はどのようなものですか？

A 商業科目では、珠算・電卓実務検定、簿記実務検定、ビジネス文書実務検定、情報処理検定、商業経済検定、会計実務検定、ビジネスコミュニケーション検定、秘書技能検定、ITパスポート、基本情報処理技術者試験などがあり、専門性が高い検定や資格は選択授業で学習して試験に臨みます。その他、英検や数検を受験する生徒もいます。

Q 資格や検定を取るための授業はありますか。また、補習はありますか？

A 商業科目の多くが全商協会の検定につながっています。簿記や情報処理は1月の補習で集中して受験対策ができます。

Q 英検や数検を取ることはできますか？

A 英検は、本校で年間3回実施しています。英検準2級・2級の対策を授業のほか、個人指導の形でも行っており、準2級取得を推奨しています。その他、全商協会主催の英語検定が年2回あります。希望者が受験します。数学は、本校では年間2～3回を目安に実施し、準2級まで挑戦できます。

Q 進学の補講(補習)はありますか？

A あります。大学受験向けに小論文指導や看護志望者向けの受験指導のほか、必要に応じて補習をしています。

Q 塾に行ったほうがいいですか？

A 島商では商業科目の学習が中心になるので、中学校時代のように塾に行っている生徒は、ほとんどいないと思います。学校の授業に集中し、家庭学習で定着させるのがよいでしょう。

Q 家にパソコンがないのですが、学習に支障がありますか？

A ありません。

Q 端末(クロムブックやipadなど)を使った授業はありますか？

A あります。

Q 探究活動をする授業はありますか？

A 1・2年生が「総合的な探究の時間」に取り組んでいます。名称は「商タイム」です。「総合的な探究の時間」は毎週月曜日の7時間目に設定され、2年間かけて取り組んだ後、3年生では、商業科目の「課題研究」で個々の探究を深める学習をします。また、1年生のHRデーは探究活動の一環として「ディズニー研修」を実施し、ディズニーの「おもてなし」を学びます。

Q 地域と関わる授業をしていると聞きました。どのようなことをしているのですか？

また、過去にどんな実績がありますか？

A 別紙の「地域と連携した探究活動をしています」で紹介している実績のほか、金融教育で証券会社の方々に講演していただくなど地域の方々から学ぶ機会を設けています。

Q 水泳の授業はありますか？

A 1学期の6月2～3週目から7月2週目まで、全学年で6～7時間程度あります。

2学期は実施しません。海や川が身近にある静岡県では、水と触れ合いながら活動する機会は非常に重要です。速く泳ぐことも大事ですが、それだけが目的ではありません。水中で体を動かす楽しさを味わい、安全に各泳法を学習します。50m×9コースの大きなプールで、心地よく泳ぐことができます。水着の指定はありません。ラッシュガードも着用可能です。

